2020 年度　ＦＤ活動報告

高等教育推進機構

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

・機構 FD 委員会が機構全体の FD 活動を実施するとともに、科目グループごとに教育改善のための話し合いと実践を行っている。
・本年度は多くの授業がオンライン実施となったため、全学の研修に多数が参加した。
・オンライン版でのピア授業参観を全学の教員に公開した。

２　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数

３　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
機構 FD 委員会	機構全体の FD 活動を企画、実施	6	10
初修外国語グループ定期会議	FD に関する情報交換と議論	9	8
健康・スポーツ担当者会議	授業展開、採点基準、学生対応について協議、積極的な FD 活動の促進	4	5
数学・専門基礎科目ミーティング	授業の進め方、成績評価の仕方、試験内容などの話し合い	2	参加者約 15

４　ＦＤ活動への各教員の参加状況

※　前項のセミナー･委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数（実数）	44　人　／　71　人中

５　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	6	7	・オンライン授業の公開を各科目分野に依頼し、オンライン版ピア授業参観を行った。
後期	10	7	
年度合計	16	14	

６　その他取り組みの具体的実施状況

・高等教育推進機構で開設している全科目を対象として、ポートフォリオ（授業ふり返り）データを基に、優れた授業を実践している 10 名の先生方を選出して機構長教育奨励賞を授与した。学生の学びと理解を促しているかどうかを判断材料に加えることにより、学生の満足度に偏らないような選考方法とした。
・機構開設科目の GPC について、科目グループごとに検証作業を行い、機構 FD 委員会で報告した。

《科目グループによる活動》

＜教養＞

・合同分野会議において、成績評価（GPC）について教員間で情報を共有し、特に問題が無いことを確認した（2回）。

・教養科目グループの９人の教員が中心となって、教養科目「近代を問う」（水４後期、テーマ「家・家族・性」）を共同運営した。

・初年次ゼミナールの成績評価（GPC）についてマネージャー3名で情報を共有した。

・初年次ゼミナールの次年度担当者説明会をオンラインで提供した（3月）。

＜英語＞

1. In response to the Covid 19 pandemic part-time teachers were given information and kept updated regarding how to access and use OPU’s LMS in order to switch to remote delivery of courses.
2. Zoom meetings were arranged and held where international part-time teachers had a chance to raise, discuss and exchange ideas regarding how to use Moodle and also how to implement and adapt syllabi to the remote, asynchronous delivery of classes.
3. A graduate-level English Academic Writing course was offered in semester one to graduate students with the aim of improving their advanced research writing skills in English.
4. Implementation of TOEIC testing for first- and second-year students in April and December 2019; Data was collected, and student performance was monitored.
5. In addition to the regular curriculum a TOEIC test preparation course was held by remote delivery.
6. The English Department liaised with teaching staff from Osaka City University, holding face-to-face and online meetings to coordinate a plan for the merger of the two universities. In these meetings staff made decisions regarding the overall course structure, timetabling and scheduling, choice of textbooks, along with writing syllabi for courses, and also making decisions about assessment and examinations.
7. A range of seminar courses in academic writing, advanced academic reading, advanced listening, presentation and speaking, media English, intercultural communication and exam practice for English Proficiency Tests were offered to further improve students’ English ability.
8. Note: Due to the Covid 19 Pandemic the English Cafe program was not offered in 2020.
9. Note: Due to the Covid 19 Pandemic, the English Language Study Abroad Programs

to the USA (University of California Irvine in September) and UK (Concorde International Canterbury in February & March) were cancelled.

＜初修外国語＞

令和 2 年度も昨年度と同様に初修外国語グループの教員教育能力向上はもちろん、授業時間外学習時間増、授業改善を初修外国語 FD の目標とした。これらの目標にそって、以下の活動を行った。

・授業で使用されている教材のブラッシュアップ（全言語）
・ICT を活用した教材の使用（音声付き教材、音声入力、学生による動画作成）（全言語）
・新入生に対する初修外国語概要とカリキュラムを説明するパンフレットの配布（全言語）
・全クラスで 1 年次終了時に 2 年次の中級クラスの紹介（全言語）
・授業支援システム等を利用して自習用教材を配付（全言語）
・検定試験の情報提供と検定試験受験の支援（全言語）
・FD セミナーに参加（全言語）
・Teams のグループチャット及びメーリングリストを通じて非常勤講師に教育力向上に役立つ情報を提供した（全言語）。
・海外語学研修のオンラインでの実施（仏語）
・国内外のシンポジウムやワークショップ等への参加もしくは発表（全言語）

また、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴いオンライン授業を実施する必要があったため、授業支援システム及びオンライン授業に必要なツールの使用方法について、初修外国語の専任教員及び非常勤講師を対象に、授業開始 1 週間前に集中的に Zoom によるオンライン相談会を開催し、そこで出た質問については FAQ としてファイルにまとめて共有した。その後もオンライン授業に関する非常勤講師からの質問に随時対応した。

＜理科＞

・科目運営、成績評価：
コロナ禍におけるオンライン講義実施のため、新たに各回の授業コンテンツを作成すると同時に、教員間でコンテンツ作成に関する情報共有を行なった。成績評価について教員間で情報を共有、協議しつつ成績評価を行ない、評価の公平性を確保した。
・学生実験：
コロナ禍における対面実験授業実施のための実験室環境整備を行なった。
また、対面実験回数削減に対応して、オンライン実験授業コンテンツを新たに作成し、これを用いたオンライン授業を実施した。
・SEL 教室（理数基礎 e-Learning）：
引き続き、高大接続用教育教材を提供する自習室の運営を行なった。

＜数学＞

・専門基礎科目ミーティングを実施し、授業の進め方、成績評価の仕方、試験内容などについて話し合った。

・オンライン質問受付室として運営した。

・オンライン授業の仕方についての情報をまとめた Web ページを作って数学教員で情報を共有した。